

共同助成(兵庫県遊技業協同組合)

「ギャンブル等依存症者へのアウトリーチ活動と自然体験学習を通じた心理的リトリート」事業

ギャンブル等依存症問題で悩んでいる方々の回復支援のための活動や居場所づくりに取り組む

薬物、アルコール、ギャンブルなどの依存症問題で悩んでいる方は、決して少なくない。当事者はもちろんだが、その家族や関係者も悩みを抱えて苦心している。そうした方々を支え、依存症からの回復や社会復帰、平穏な暮らしのために活動を続けている兵庫県内の団体が、活動の幅を広げるための拠点づくりに取り組んだ。



POSCの助成を受け開設したホームページ「関西パチンコ・パチスロ問題相談ネットワーク」

兵庫県唯一の依存症リハビリ施設として包括的な支援活動続ける神戸ダルク

一般社団法人「神戸ダルク ヴィレッジ」は、兵庫県で唯一の依存症リハビリ施設として、依存症者、その家族、および依存症の問題を抱えるあらゆる関係者に対して包括的に回復や社会復帰を支援する事業、ならびに依存症に関する啓発事業を行い、社会全体の利益に寄与することを目的に活動を続けている。その活動は多岐にわたっているが、障がい福祉サービスによる自立訓練事業、家族や当事者、および関係者への相談業務、依存症の研究事業、依存症に関する兵庫県全域における啓発活動、

地域の刑務所・保護観察所への教育活動、中学校・高校への予防講演活動などが中心となっている。また、地域のボランティア活動などにも積極的に参加し、依存症者の社会復帰に向けての活動にも取り組んでいる。

これまで同法人では、神戸市を中心として兵庫県内の依存症者に対する回復支援を行ってきたが、出張家族相談で最も相談件数が多かった姫路地区は県内でも比較的大きな都市部でありながら、依存症の相談拠点が存在しなかった。そこで同法人では、POSCの助成を活用し、姫路地区でのギャンブル等依存症の相談拠点を設置し、兵庫県全体を大きくカバーしていく事業に取り組んだ。また、

それに合わせ、パンフレットの更新や作成、活動拠点でのセミナーを開催するとともに、これまで通りギャンブル等依存症者の方々、その関係者、家族への相談支援などのアウトリーチ活動を行った。姫路に拠点ができたことで、同法人が鳥取県内に所有するログハウスへのアクセスが1時間以内となり、リトリート(リフレッシュ)活動にも大いに役立っている。

姫路地区での相談支援事業の増加と自然の中でのリトリート活動の充実

同法人が昨年度に実施した主な活動としては、ギャンブル等依存症者の方々、その関係者、家族への相談支援事業があるが、姫路地区を中心に電話相談を昼夜問わず行ったことで、月20名、年間240名の相談があった。また、依存症問題で困っている家族や関係者のための家族会の開催(月1回)や出張家族相談室(月2回)も実施したが、姫路と尼崎で実施した出張相談室では20名の相談者があった。

「ギャンブル等依存症者のための自然体験を通じたリトリート活動は、鳥取県内にあるログハウスを中心に行いましたが、

大自然の中での遊びや瞑想を取り入れた森林セラピーなど、都会では味わえない非日常の中で、参加者は本当の自分と向き合っている様子で、特に木工や小屋づくりでは、仲間同士で声を掛け合いながら一生懸命に取り組んでいる姿が嬉しかったです」と、同法人の担当者は振り返る。今後も、このログハウスを利用して、自然の中での作業、山菜採り、天体観測、小屋作りなどの活動を行い、依存症のストレス軽減に役立てたいと言う。

「依存症は犯罪に繋がるケースが多いが、こうした事業を通して依存症者が回復して社会復帰することで、その家族にも安心して暮らせる平穏な生活が訪れてほしい。そのためには社会全体が依存症に対する理解や配慮、また回復を手助けする環境を整えていく必要がある」と同法人は思いを語る。

兵庫県遊技業協同組合より

ギャンブル等依存症が社会的問題となっていることもあり、業界を挙げて取り組むことが責務だと考えています。



姫路地区に設置した相談拠点



自然体験を通じたリトリート活動を実施

助成団体:一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

<http://www.kobedarc.org>



依存症の問題を抱えている当事者や家族に対する支援を継続

「依存症」は回復できる病気ですが、それには社会の支援がとても重要です。当事者や家族への回復支援、関係機関への理解啓発を本事業を通して行うことができました。家族相談や家族会などは新型コロナの影響で近隣の府県の相談機関が開いていなかったこともあり、例年以上に参加される方も多く、ニーズに応えることができたと思っています。

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ
代表理事 梅田 靖規さん